

4. 街づくりの進め方

街づくりを効果的に進めるための仕組みを整えます。

街づくりを進めるために、区民、事業者、区がそれぞれの役割を担い、連携、協力の下「意見交換をする場」を設けていきます。

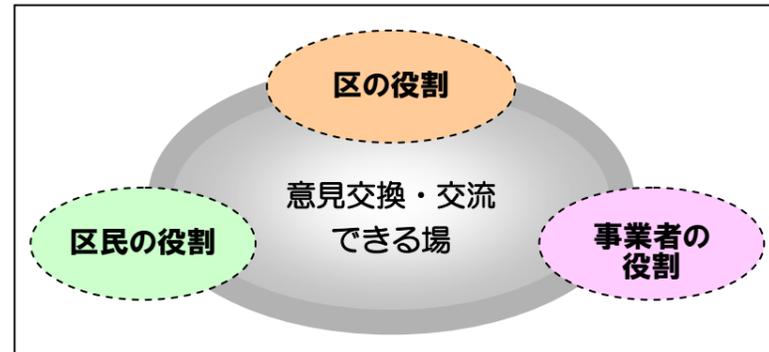
今後、意見交換の場を発展させ、例えば、地域別の課題や、テーマ別に話し合いの場を設けるなどして、地域のルールづくりなどの街づくりを進めていくことができると考えています。

区は、そのような取り組みへ積極的に参加・支援を行い、区民・事業者と連携・協力し、「整備構想」の実現に向けた具体的な施策の策定、実施を行います。

なお「整備構想」策定後、平成23年度に「整備方針」として具体的な整備の方向性について検討を進め、平成24年度に「整備計画」をまとめていく予定です。



写真：懇談会の様子



素案の説明会を開催します	日時：平成22年12月20日（月） 午後7時～午後8時30分 会場：目黒区総合庁舎2階 大会議室 ※参加希望者は、当日会場へお越しください。
素案の縦覧	閲覧場所：総合庁舎本館1階区政情報コーナー・6階地区整備計画課 地区サービス事務所、菅刈・中目黒・烏森住区センター ホームページ： http://www.city.meguro.tokyo.jp から地区整備計画課の情報をご覧ください。 閲覧期間：平成22年12月15日（水）～平成23年1月20日（木）
ご意見提出方法	「中目黒駅周辺地区整備構想改定素案」と明記し、住所、氏名または団体名をご記入の上、郵送、FAX、Eメールにて地区整備計画課までお寄せください。 郵送先：〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15 目黒区街づくり推進部地区整備計画課 FAX：03-5722-9239 Eメール：nakameguro-kai@city.meguro.tokyo.jp 締め切り：平成23年1月20日（木）必着 ※尚、頂いたご意見は、個別の回答はいたしません、構想改定の参考にさせていただきます。
お問い合わせ先：目黒区街づくり推進部地区整備計画課 電話：03-5722-9673（担当：大塚、三橋）	

中目黒駅周辺街づくりニュース

第2号 平成22年12月

発行：中目黒駅周辺地区整備構想改定懇談会事務局

中目黒駅周辺地区整備構想改定の「素案」がまとまりました。 皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

中目黒駅周辺地区整備構想（以下、「整備構想」）改定の「中間報告」について、皆様からいただいた意見・要望等を踏まえ、整備構想の「素案」を作成しました。素案は、中間報告に比べて主要内容に変更はありません。

尚、中間報告で頂いた意見の多くは地域の具体的な問題についてでした。整備構想は、街づくりを進めていくために「今後取り組むべき街づくりの“基本的な方向性(考え方)”」を示したものであるため、地域の具体的な問題等に対する意見・要望は、整備構想ではなく、来年度以降検討を予定している、より具体的な取り組みを定める「整備方針、整備計画」の検討材料として活用させていただきたいと思っております。

今後目黒区では、この整備構想を皆で共有しながら、区民、事業者、目黒区がそれぞれの役割を担い、連携、協力のもと中目黒駅周辺地区の目指す将来像の実現に向けた街づくりを進めてまいります。

今回の「中目黒駅周辺街づくりニュース」では、整備構想（素案）の概要についてお知らせします。なお、素案の詳細は区ホームページ、住区センター等でご覧頂けます。

【中間報告に対する意見・要望等】

- 意見募集期間 平成22年9月15日～平成22年10月5日
- 意見提出者数 7個人・団体
- 意見概要

1. 中目黒駅周辺の街づくりについて

- ・今後の街づくりについて
（各種街づくりを協議する場の設定等）
- ・観光街づくりに関する施策（事業）について
（案内板、回遊性、観光情報板等）
- ・地区の将来像について
- ・外国人が住みよい街づくりについて
- ・みどり豊かな街について

2. 都市施設について

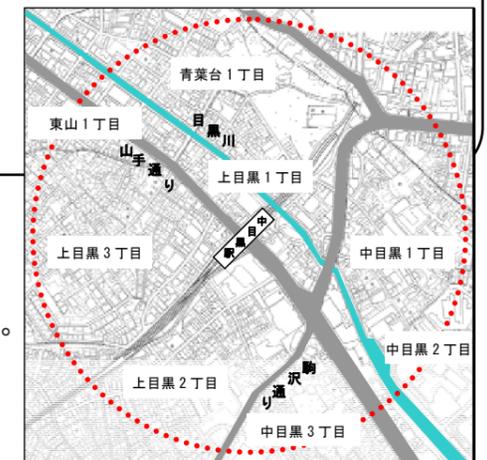
- ・目黒川について（水質浄化、上部利用）
- ・山手通りの拡幅について

3. その他

- ・街の景観について
- ・懇談会の委員の公表・公募方法について
- ・飲食店等の夜間営業・騒音について
- ・公共施設の設置について
- ・JR跡地の進め方について
- ・放置自転車対策について

1. 地区の範囲

「中目黒駅」を中心とした概ね半径500mの地域とします。
（青葉台1丁目、東山1丁目、上目黒1、2、3丁目、中目黒1、2、3丁目の計8町丁が対象となります）



＜整備構想の対象区域図＞

2. 街の将来像

<地区の将来像>

地域の個性を活かした 文化の創出ができるまち なかめぐろ

中目黒駅周辺地区は、従来からの商店街に加え、目黒川沿いの昭和を彷彿させる古い家や小さなビルを改修した個性的な店舗等が立地してきており、駅前とは違う雰囲気を感じ出しています。このような地域ごとの様々な個性は、この街の豊かな表情をつくりつつあります。

また、街歩きを楽しむ人や、犬を散歩に連れ出す人も増えており、居住者の生活様式が変化してきています。こうした生活様式の変化に合わせて、道路や公園などの施設について、くつろげる場所や楽しく散策できる道などの整備が求められています。

そこで、中目黒駅周辺地区では、人と人とのつながりがあり、昔からの生活様式を継承しながら、美しい街並みの形成や、できるだけ自動車に頼らないで街歩きなど歩いて楽しめる街といった、考え方や生活様式を“文化”として捉え、様々な文化を創出していくことで“地域の個性”を活かしながら、住み続けたい街、住んでみたい街、訪れてみたい街を目指していきます。

<街づくりの目標>

「街づくりの目標」は、地区の将来像に向かって目指すべき方向を定めたものです。

目標1 快適で安全な住環境の維持・保全・改善・調和を進めます

商業・業務と住宅などの無秩序な混在や木造密集地域の解消、良好な住宅地の維持・保全などの課題への対応を行うことで、不安や危険を感じない街づくりを進めると共に、どこか懐かしいといった雰囲気を大切にするなど、心地よさや安らぎ、潤いのある個性豊かな街並みの形成を目指していきます。



目標2 環境にやさしい、歩いて楽しめる街づくりを進めます

幅広い視野で、環境問題への認識を深め、長期的展望に立って、環境負荷の少ない地域社会の形成に取り組むと共に、出来るだけ自動車に頼らないで、誰もが安心して移動できるようにしたり、楽しく散策できる道やくつろげる場所の整備など、歩いて楽しめる街づくりを目指します。



目標3 中目黒駅周辺の魅力を更に高めるための街づくりを進めます

中目黒駅の改良・耐震化工事に伴う鉄道高架下への対応や、山手通りの拡幅などの事業と連携して、賑わいや活気を創出し、さらに人を引き付ける魅力ある街づくりを目指します。

目標4 地区の活性化や都市型観光に寄与する街づくりを進めます

個性的な商店や、由緒ある寺社や坂道などの歴史的資源、目黒川などの自然資源を活用し、豊かな食文化などの広がり大切にしながら、街歩きを楽しめる都市型観光にも寄与する街づくりを目指します。



地域コミュニティを活かした街づくり

地域コミュニティを活かし、誰もが安全で安心して暮らし続けることのできる街づくりを進めます。

3. 街づくりの方針

「街づくりの方針」は、「街づくりの目標」を実現するための街づくりの基本的な考え方や取り組みの方向性を示すものです。概ね10年間を目標に、段階的に進める街づくりの基本的な指針として、個別の計画立案や具体的な取り組みに反映されます。

街づくりの方針は、地区の現況や特性などから地区を12区分し、各区分において方針を設定します。

